

化学療法計画書

ID						指示医師:		
氏名						指導医師:		
生年月日						投与開始予定日: 年 月 日		
実施部署			発行日			投与終了日: 年 月 日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50			

病名	胆道癌
治療法	GCS療法

	1	2	3	
抗癌剤・商品名	ゲムシタピン	シスプラチン	ティーエスワン配合OD錠	
規格	200mg 1000mg	10mg/20mL 50mg/100mL	20mg 25mg	
一般名	ゲムシタピン	シスプラチン	テガフル・ギメラシル・オテラシル	
一日投与量(規定)	1000mg/m ²	25mg/m ²	体表面積	一日投与量
患者情報から算出した一日投与量	1501.12 mg	37.53 mg	1.25 m²未満	80mg/日
実際の投与量	1500 mg	37 mg	1.25 m²以上1.5 m²未満	100mg/日
	999.3 mg/m²	24.6 mg/m²	1.5 m²以上	120mg/日
投与日	day1	day1	day1-7	
1クール期間	14日間			
予定クール数				
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて随時検査実施			

適応基準	切除不能・再発胆道癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前) 125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1.胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 2.本剤または他の白金を含む薬剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 3.他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤(これらの薬剤との併用療法を含む)を投与中の患者 4.高度な骨髄抑制のある患者 5.胸部への放射線療法を施行している患者 6.重症感染症を合併している患者 7.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 8.重篤な腎障害のある患者 9.重篤な肝障害のある患者 10.フルシトシンを投与中の患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm ³ 未満、血小板数: 50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●ゲムシタピン 重大 1.骨髄抑制 2.間質性肺炎 3.アナフィラキシー 4.心筋梗塞 5.うっ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促迫症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 11.皮膚障害 12.肝機能障害、黄疸 13.白質脳症 その他 (10%以上または頻度不明) 総蛋白低下、電解質異常、アルブミン低下、食欲不振、悪心・嘔吐、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、AI-P上昇、発疹、疲労感、発熱、インフルエンザ様症状、放射線照射リコール反応、血小板増加 (1~10%未満) 頻脈、血圧上昇、呼吸困難、高炭酸ガス血症、低酸素血症、咳嗽、BUN上昇、蛋白尿、血尿、クレアチニン上昇、下痢、便秘、口内炎、胃部不快感、ビリルビン上昇、A/G比低下、γ-GTP上昇、ウロビリリン尿、頭痛、めまい、不眠、知覚異常、脱毛、そう痒感、注射部位反応、体重減少、尿糖陽性、好酸球増多、関節痛、悪寒、味覚異常、鼻出血、倦怠感、浮腫、CRP上昇、体重増加、疼痛、ほてり、胸部不快感 ●シスプラチン 重大 1.急性腎不全 2.汎血球減少等の骨髄抑制 3.ショック、アナフィラキシー様症状 4.聴力低下・難聴、耳鳴 5.うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲 6.脳梗塞、一過性脳虚血発作 7.溶血性尿毒症症候群 8.心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈 9.溶血性貧血 10.間質性肺炎 11.抗利尿ホルモン不適分泌症候群 12.劇症肝炎、肝機能障害、黄疸 13.消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔 14.急性肺炎 15.高血糖、糖尿病の悪化 16.横紋筋融解症 17.白質脳症(可逆性後白質脳症症候群を含む) 18.静脈血栓塞栓症 その他 (10%以上または頻度不明) 悪心・嘔吐、食欲不振、脱毛、全身倦怠感、注射部位反応、血圧上昇 (1~10%未満) 下痢、口内炎、末梢神経障害、AST上昇、ALT上昇、AI-P上昇、LDH上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱 ●TS-1 重大 1.骨髄抑制、溶血性貧血 2.播種性血管内凝固症候群(DIC) 3.劇症肝炎等の重篤な肝障害 4.脱水症状 5.重篤な腸炎 6.間質性肺炎 7.心筋梗塞、狭心症、不整脈、心不全 8.重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔 9.急性腎障害、ネフローゼ症候群 10.中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群 11.白質脳症等を含む精神神経障害 12.急性肺炎 13.横紋筋融解症 14.嗅覚脱失 15.涙道閉塞 その他 (5%以上) 白血球減少、好中球減少、血小板減少、赤血球減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値減少、リンパ球減少、AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇、ビリルビン上昇、AI-P上昇、食欲不振、悪心・嘔吐、下痢、口内炎、味覚異常、色素沈着、発疹、全身倦怠感、LDH上昇、総蛋白減少、アルブミン低下
備考	

GCS療法 観察記録

所要時間:5時間半

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	ゲムシタビン (mg) 一般名(ゲムシタビン) シスプラチン (mg) 一般名(シスプラチン)			
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	ソルデム3A 500mL		1時間かけて点滴 【500mL/h】	
	生食500mL		3時間半かけて点滴 【140mL/h】	
	生食100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	生食500mL+シスプラチン 【Total 500mL】		2時間かけて点滴 【250mL/h】	
	生食100mL+ゲムシタビン		30分かけて点滴 【200mL/h】	
	ソルデム3A 500mL		1時間かけて点滴 【500mL/h】	
本体終了後抜去				